

令和6年度

F C東京との連携協力事業報告書

令和7年3月

生活文化スポーツ部スポーツ振興課

令和6年度F C 東京連携事業一覧表

No	担当課	事業名	新規・継続
1	企画経営課	ふるさと納税返礼提供事業	継続
2	広報課	市公式SNS（LINE・X（旧ツイッター））や市報での情報発信	継続
3	広報課	調布・狛江の魅力PR部の大学生が発信【まちの素敵な魅力 F C 東京 青赤ストリート】	継続
4	人事課	「令和7年度調布市職員採用案内」への掲載	継続
5	人事課	令和6年度調布市新任職員研修	新規
6	総合防災安全課	令和6年度調布市防災訓練・防災フェア	新規
7	文化生涯学習課	ちようふピースメッセンジャー・ちようふピースメッセンジャージュニア	継続
8	文化生涯学習課	調布市パラアート展	継続
9	協働推進課	ちょみつと「X」フォロー&リポストキャンペーン	継続
10	産業振興課	バナーフラッグ作成・掲示	継続
11	子ども政策課	いじめや虐待のないまち宣言PR事業	継続
12	子ども政策課	里親制度普及啓発ポスター作成・掲示	新規
13	児童青少年課	児童館交流サッカー大会「J's cup」	継続
14	福祉総務課	「社会を明るくする運動」PR活動	継続
15	高齢者支援室	F C 東京 高齢者体操教室	継続
16	障害福祉課	F C 東京あおぞらサッカースクール	継続
17	障害福祉課	調布市障害者余暇活動支援事業（ほりでーぶらん）	継続
18	環境政策課	広報紙「ゼロカーボンシティちようふ」への記事掲載	新規
19	環境政策課	飛田給駅前クリーン作戦	継続
20	交通対策課	高齢者等運転免許自主返納サポート事業	継続
21	交通対策課	F C 東京によるランドセルカバーの寄贈	新規
22	指導室	F C 東京選手会 小学校訪問授業	継続
23	図書館	「F C 東京選手の私のすすめるこの一冊2024」発行	継続
24	調布市スポーツ協会	第10回調布市小・中学生バレーボール交流大会	継続
25	調布市スポーツ協会	CHO FU SPORTSキャンプ2024	継続
26	調布市スポーツ協会	第64回調布市民スポーツ大会 開会式（動画配信）	継続
27	調布市スポーツ協会	第42回調布市民スポーツまつり	継続
28	調布市スポーツ協会	第22回調布フットサル大会	継続
29	調布市スポーツ協会	第69回調布市民駅伝競走大会	継続
30	社会福祉協議会	東京都共同募金会調布地区協力会	継続

31	調布市文化・コミュニティ振興財団	調布よさこい2024	継続
32	調布市文化・コミュニティ振興財団	映画のまち調布 シネマフェスティバル2025	新規
33	スポーツ振興課	あおあかドリルの配布	継続
34	スポーツ振興課 産業振興課	FC東京「調布の日」	継続
35	スポーツ振興課 産業振興課	調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクトチーム	継続
36	スポーツ振興課	FC東京×朝活	新規
37	スポーツ振興課	子どもサッカ一体験教室	継続
38	スポーツ振興課	小学生サッカークリニック及び指導者講習会	継続
39	スポーツ振興課, 産業振興課, 文化生涯学習課	青赤ストリート	継続
40	スポーツ振興課	調布市パラスポーツ体験会	継続
41	スポーツ振興課	合同部活動での技術指導	新規
42	スポーツ振興課	FC東京リーグ戦等の情報発信	継続
43	スポーツ振興課	FC東京応援機運醸成に向けた取組	新規
44	スポーツ振興課 広報課 調布市文化・コミュニティ振興財団	FC東京2025シーズン開幕に向けた取組	新規

No.1

所管	企画経営課
事業名称	ふるさと納税返礼提供事業
実施日	令和6年11月22日(金)から
実施内容	<p>2022年から調布市ふるさと納税返礼提供事業にご参画いただいているFC東京から、味の素スタジアムでのホームゲームにて観客向けに提供しているゴールデンエールビール「FC TOKYO GOLDEN ALE」を、返礼品限定の缶仕様で提供いただき、希望する寄附者に届けた。11月22日からふるさと納税ポータルサイトに公開したところ、12月末までの間に103件もの申込をいただくことができた。</p>
今後の方向性や課題等	<p>3年目の取組であり、両担当者間で円滑な打合せのもと、返礼品の種類や提供方法を決定することができた。前回を大きく上回る数量の申込があり、FC東京と調布市の連携を広く市外の方にも知っていただくことができた。今後も、市の連携・応援施策の一つとして、FC東京の魅力を広く発信すべく、返礼品のバリエーションを拡大させながら、返礼提供を継続していきたい。</p>

No.2

所管	広報課・スポーツ振興課
事業名称	市公式SNS（LINE・X（旧ツイッター））や市報での情報発信 継続
実施日	事業告知などのタイミングで随時実施
実施内容	FC東京を応援するため、青赤ストリートなどの取組を、公式SNS（調布市LINE公式アカウント・X）で写真とともに配信した。 また、市報ちようふでは、試合結果をFC東京NEWSとして掲載するほか、ホームゲームへの市民招待や青赤ストリートなどFC東京関連の事業を適宜掲載した。
今後の方向性や課題等	<p>新たなファンの獲得につなげるため、選手だけでなく、個性あるコーチ・スタッフへインタビューするなどできたら、FC東京を身近に感じてもらうことができ、面白い企画につながると思う。</p>

No.3

所管	広報課
事業名称	調布・狛江の魅力PR部の大学生が発信 【まちの素敵な魅力 FC東京 青赤ストリート】 繼続
実施日	2月21日配信・調布市公式YouTubeでも配信中
実施内容	調布・狛江の魅力PR部の大学生が、12月8日に開催された青赤ストリートを取材・体験し、その後の試合観戦とともに、その様子をインスタグラムで発信した。発信したショート動画は、市公式YouTubeでも公開。
今後の方向性や課題等	<p>魅力PR部の大学生が、実際に体験してもらうことで、若者の視点を内容に反映できることから、行政にない視点で配信ができた。</p> <p>大学生など若い世代を視点を活かした魅力を伝えることで、スタジアムに足を運ぶ若年世代の市民を増やし、新たなファンの獲得やスポーツによる地域活性化につなげていきたい。</p>  

No.4

所管 人事課

事業名称 「令和7年度調布市職員採用案内」への掲載 継続

実施日 令和6年3月

実施内容 ○発行部数
1,000部（採用試験受験者向け）

○概要

魅力的な採用案内を制作し、多くの方々に手に取って読んでいただくため、市のPRの一環として、職員採用案内にFC東京との連携事業（市職員によるFC東京応援企画「ユニフォームデー」等）を掲載した。

FC東京との連携

味の素スタジアムをホームスタジアムとしているFC東京との連携はスポーツの分野にとどまらず、青少年の健全育成、文化、福祉、地域活性化等様々な分野に及びます。



ちょうふピースメッセンジャージュニア



FC東京子どもサッカー体験教室



FC東京初心者向けフットサル教室



飛田給前クリーン作戦

今後の

方向性や

課題等

OFC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興を進めている「スポーツの盛んなまち」として市のPRにも繋がり、市職員採用試験には多数の申込があった。

No.5

所管	人事課	
事業名称	令和6年度調布市新任職員研修	新規
実施日	令和6年4月5日（金）	
実施内容	<p>○概要 令和6年4月1日付け新規採用職員を対象とする新任研修の一環として、市内指定地区をグループに分かれて巡り、市の公共施設や関連施設を訪問することで、利用者や施設関係者の声を聞き、調布市の特徴や魅力を知ることを目的とする研修</p> <p>○研修日当日は、市内の西ルートグループの新任職員9名がFC東京事務所、青少年ステーションCAPS味の素スタジアム、子ども発達センターを訪問。</p> <p>○FC東京事務所では、調布市との連携事業やFC東京の地域貢献事業等についてFC東京スタッフから説明を受け、市とFC東京との関係性を学んだ。</p>	
今後の方向性や課題等	<p>○普段はなかなか行くことがないFC東京の事務所を訪問し、FC東京スタッフから直接調布市への思いや連携事業等について説明を受ける貴重な機会となっている。</p> <p>○新任職員からは、「FC東京の試合を観戦に行きたい」「FC東京がサッカー以外にもこれだけの地域貢献をしていることが分かった」等の感想があった。</p> <p>○調布市職員として、スポーツ振興のみならず、様々な分野で連携したまちづくりを行っているFC東京について学ぶ良い機会となることから、今後も実施していきたい。</p>	

No.6

所管	総合防災安全課	
事業名称	令和6年度調布市防災訓練・防災フェア	新規
実施日	令和6年10月14日（月）10：00～15：30	
実施内容	令和6年度調布市防災訓練・防災フェアにおいてFC東京、東京ドロンパグリーティングを実施。 対象：訓練参加者 会場：味の素スタジアム（味ペン広場） 参加費：無料 【参加人数（延べ人数）】 4,200人（上記訓練の参加者の合計、主催者発表） ※ この他、FC東京の各種グッズを訓練参加特典として配布	
今後の方向性や課題等	 総合防災訓練への関心が低い市民に対し、訓練への参加を促進するため連携事業を実施。 家族連れに対し、集客効果があった状況 今後も継続実施の希望であるが、他出店ブースとのコラボ等、より効果的な集客方法を検討していきたい。	

No.7

所管	文化生涯学習課	
事業名称	ちょうふピースメッセンジャー ちょうふピースメッセンジャージュニア	継続
実施日	令和6年6月30日（日）～令和7年3月31日（月）	
実施内容	<p>中学生被爆地平和派遣（ピースメッセンジャー）事業及びピースメッセンジャージュニアの取組をFC東京との連携により実施した。</p> <p>【中学生被爆地平和派遣】次代を担う子どもたちを被爆地へ派遣し、戦争・平和に関する現地施設の見学等を通じて戦争の悲惨さや平和の大切さについて肌で学ぶ機会を設け、その成果を広く市民へ還元することを目指す。今年度は市内の中学生11人をピースメッセンジャー2024として長崎へ派遣した。</p> <p>【ピースメッセンジャージュニアの取組】令和6年8月31日から9月1日まで予定していた広島派遣は台風10号の影響により中止としたが、その代わりに2日間に分かれて都内にある戦争関連施設を見学した。令和6年12月8日に「FC東京第4回青赤ストリート」の会場内のステージでこれまでの活動の報告を行ったほか、学習した内容や感じたことをまとめたメッセージボードも会場内に展示了した。</p> <p>ピースメッセンジャー・ピースメッセンジャージュニア合同で実施した任命式では石川CGにご出席いただき、応援メッセージをいただいた。</p>	
今後の方向性や課題等	      <p>ピースメッセンジャージュニアの取組については、FC東京と連携し「試合観戦」と「平和学習」を組み合わせた事業を実施することにより、サッカーに興味があり本事業に参加した小学生が、平和学習を通して戦争・平和について興味を持ち、自ら調べ学習を行う等、若年層の平和学習のきっかけとすることができた。また、任命式において、石川CGにサッカー通した相手への「リスクペクト」の心など、サッカーを切り口とした平和への想いをお話しいただいたことにより、ピースメッセンジャー・ピースメッセンジャージュニアの「平和」に対する理解が促進された。次年度以降も若年層が戦争・平和について関心を持つきっかけとなるよう、FC東京と連携した取組を実施したい。また、FC東京の持つ影響力を生かし、ピースメッセンジャー・ピースメッセンジャージュニアの学びの成果や平和への想いを市内外へ広く発信していきたい。</p>	

No.8

所管	文化生涯学習課
事業名称	調布市パラアート展
実施日	令和6年8月20日（火）～25日（日）
実施内容	<p>東京2020大会の開催を契機に障害者のスポーツのみならず文化芸術の発展に繋げるため、平成29年度から市内の福祉作業所や特例子会社等で制作されたアート作品を展示する「調布市パラアート展」を開催している。</p> <p>令和6年度はこれまでどおりテーマを設けずに自由に制作した作品を展示する「自由制作部門」と、ハートをテーマに作品を募集し、応募作品の中から調布ゆかりのスポーツ団体や企業が作品を選んで表彰する「アワード部門」の二部構成で開催した。令和5年度にパラアート展の応援企画として実施した「ピッグハートプロジェクト」に参加、協力いただいた様々な団体とのつながりを生かし、さらにパラアート展を積極的に応援してもらえるよう、新たな試みとして「アワード部門」を実施し、FC東京にも協力団体として作品の選定・表彰をしていただいた。</p> <p>展示開催期間中には授賞式を実施し、プレゼンターとして石川CGにご出席いただき、受賞者へ表彰状を授与いただいた。</p>
今後の方向性や課題等	<p>今年度初めての試みとして「アワード部門」を設け、授賞式ではアーティストへ直接表彰状を授与いただいたことで、制作者のアート制作のモチベーションにつながった。</p> <p>また、福祉施設との新たなネットワークを構築することができた。</p> <p>次年度以降も引き続きFC東京と連携し、文化芸術の振興を通じて共生社会の重要性をこれまで以上に発信していきたい。</p>

No.9

所管	協働推進課	
事業名称	ちょみっと「X」フォロー&リポストキャンペーン	継続
実施日	令和7年2月23日（日）～3月2日（日）	
実施内容	令和7年3月2日（日）に実施する「第11回調布まち活フェスタ」をPRするとともに、ちょうふ地域コミュニティサイト「ちょみっと」に掲載している市内イベント及び活動団体情報を投稿している「X」の認知度向上を図るため、FC東京選手サイン入りフラッグを抽選でプレゼントするフォロー&リポストキャンペーンをFC東京と連携して行う。参加者数は123名。	
今後の方向性や課題等	<p>引き続き、フォロー&リポストキャンペーン等、SNSを通した連携を図っていくことに加え、FC東京が行っているスポーツボランティア等の社会貢献活動を「ちょみっと」にて紹介していくなど、更なる連携を深めていきたい。</p>	

No.10

所管	産業振興課	
事業名称	バナーフラッグ作成・掲示	継続
実施日	令和4年2月から（順次掲示）	
実施内容	市内商店会の街路灯へFC東京のオリジナルバナーフラッグを取り付け、市としてFC東京を応援する事業。 ・掲示場所 スタジアム通り、飛田給、西調布、調布駅周辺、市役所	
今後の方向性や課題等	<p>調布市がFC東京を応援していることを、市を訪れた人たちに効果的に伝えることができた。</p> <p>来年度についても引き続き掲示することで、FC東京との関係を強化していきたい。</p>	

No.11

所管	子ども政策課	
事業名称	いじめや虐待のないまち宣言PR事業	継続
実施日	令和6年11月2日（土）	
実施内容	<p>「いじめや虐待のないまち宣言」を広く周知するため、子ども達に「みんななかよし」をテーマに、描いてもらった絵をシールに加工して、ごみ収集車へ貼ることで、普及啓発を目的としたPR事業を実施している。</p> <p>また、国領駅近くの「あくろす」にて、12月13日から1月13日まで、展示会を開催した。</p> <p>なお、FC東京からいただいた協賛品は、ごみ収集車出発式終了後に、参加賞として子ども達へ配布した。（出発式欠席者には令和7年3月14日まで配布予定）</p> <p>【参加者】 小学1年生から6年生まで 76名</p>	
今後の 方向性や 課題等	  <p>ごみ収集車出発式では、ごみ収集車の前や運転席に座って、楽しそうに写真撮影をする家族連れで賑わっていました。参加賞を受け取った子ども達は、とても喜んでくれました。今後も継続していきたいと思います。</p>	

No.12

所管	子ども政策課	
事業名称	里親制度普及啓発ポスター作成・掲示	新規
実施日	令和6年10月～11月	
実施内容	里親制度について知ってもらうため、FC東京及び多摩フォースターリング機関と協働し、里親制度普及啓発ポスターを作成した。10月から11月までの「里親月間」に市内各施設で掲示した。	
今後の方向性や課題等	 <p>里親制度について知ってもらうため、FC東京及び多摩フォースターリング機関と協働し、里親制度普及啓発ポスターを作成した。10月から11月までの「里親月間」に市内各施設で掲示した。</p> <p>東京都には様々な事情で保護者と暮らせない子どもたちが約4,000人います。その子どもたちを家に迎え入れ、一緒に暮らしているのが、里親さんです。</p> <p>里親制度の認知はまだまだ強く、里親さんや子どもたちの中には、「私たちが当たり前に利用する施設」例えば市役所や学校、病院などで育っていることがあります。</p> <p>あなたが里親制度を知ることで、里親さんや子どもたちが優みやすい環境をつくることができます。</p> <p>多摩扶桑斎賀所 フォースターリング協会第二実習園 URL: https://www.tamafusa.or.jp/center-for-staging/second-hanmonen/ X: @tama_fusa Instagram: @tama_fusa_</p>	

No.13

所管	児童青少年課
事業名称	児童館交流サッカー大会「J's cup」 継続
実施日	令和7年1月12日（日）
実施内容	<p>市内の児童館や学童クラブで活動している児童が一堂に会し、サッカーを通じて仲間との親睦を深め、チームワークやルールの中でプレイすることなどの大切さを学ぶ。この事業は、Jリーグが開幕した1993年に調布市でもサッカーで熱く盛り上がりよう！という趣旨からスタートし、その後、FC東京のホームタウンを構成する市の1つとして、サッカー競技への機運醸成をより高めていくことも目的の一つとして、事業を実施しています。大会当日は、小学生「低学年」のチームを3ブロックに分け、1年生の得点は2点にするなど、交流大会らしいローカルルールを設定し、ゲームを実施しました。また、FC東京様からいただいた子ども用Tシャツ（400着）を、参加賞として子どもたちに配布しました。Tシャツは参加児童や保護者に大変人気で、手に取った子どもたちのなかには、もらったばかりのシャツを体にあてて「これを着て試合に出たい！！」という子も。思いがけないうれしいプレゼントに子どもたちは大喜びでした。</p>
実施会場	ミズノフットサルプラザ調布
参加人数	30チーム 316人
今後の方向性や課題等	<p>・例年、参加児童、保護者を含めて、とても盛り上がる事業であり、FC東京の地元として、今後も継続していく。</p> <p>・サッカーに触れることだけではなく、市内の同年齢層の児童とプレイすることで、個々のさらなるレベル向上に繋げ、将来のJリーガー選手を輩出するきっかけとなるようなものとしていきたい。</p>

No.14

所管 福祉総務課

事業名称 「社会を明るくする運動」PR活動 継続

実施日 令和6年8月17日（土）

実施内容 8月17日（土）に味の素スタジアムで開催された、FC東京対東京ヴェルディ戦のハーフタイム時に、社会を明るくする運動のマスコットキャラクターのホゴちゃん・サラちゃんと一緒に、社会を明るくする運動の横断幕を持ち、調布保護司会の方々とピッチを周回するなどのPR活動を行いました。
マスコットキャラクターたちが横断幕と共にピッチを歩く姿は、当日の来場者39,921人の注目を集め、広報活動として大きな効果がありました。

【社会を明るくする運動】

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築こうとする、全国的な運動。主唱：法務省



今後の方向性や課題等 担当者、参加者の感想等、また今後の課題やより充実させるためのアイデア等記載ください。

上記のPR活動に加え、FC東京ホームゲーム開催日に、会場及びその周辺において、社明グッズ等を配布する等のPR活動の拡充を検討しています。

No.15

所管	高齢者支援室	
事業名称	FC東京 高齢者体操教室	継続
実施日	第1回：10月23日 第2回：11月27日 第3回：12月18日	
実施内容	保健師による介護予防の講義後、FC東京のトレーナーの指導で、高齢者向けにアレンジされた運動を楽しむ高齢者体操教室を開催。 全身の筋肉をほぐす簡単なストレッチから始まり、最後はサッカーボールを使って運動を実施。 毎年リピーターの多い大人気企画であり、今年度は明治安田様のスポンサー枠を活用させていただき、過去最大の年3回実施した。	
<p>会場：文化会館たづくり むらさきホール 対象：65歳以上の医師から運動制限を受けていない市民 参加者：第1回13人、第2回11人、第3回16人</p>		
今後の方向性や課題等	 <p>令和4年度まで年1回開催。令和5年度は2回開催。令和6年度は明治安田様のスポンサー枠を活用し、3回実施した。 毎回、参加申込み開始すぐに満員になるほど人気企画であり、参加できるのは年度で1回としている。リピーターも非常に多く、さらに新規の方が参加できるよう、令和7年度は開催方法や回数を検討していきたい。</p>	

No.16

所管	障害福祉課	
事業名称	FC東京あおぞらサッカースクール	継続
実施日	毎月第2日曜日（8月を除く）ほか年3回交流会	
実施内容	主に知的・発達障害がある方向けのサッカースクールです。FC東京コーチ陣に加え、外部コーチ（NPO法人トラッソス）にもお越しいただいている。障害の程度に合わせたクラスを設定をし、手厚いコーチ陣の支援のもと、参加者の得意なこと・できることに合わせた内容で実施。参加者にとって貴重な外出及び運動の機会となっている。 毎月第二日曜日の定例会のほかに年3回「交流会」という形で、試合形式による他チームとのゲームを実施している。 【クラス種別】 <ul style="list-style-type: none">・重度の障害がある方を対象としたエンジョイクラス（小学生クラス定員20名※令和5年度からの新規クラス／中学生以上クラス 定員20名）・軽度、中度の障害がある方を対象としたチャレンジクラス（小学生クラス定員20名／中学生以上クラス 定員20名）	
今後の方向性や課題等	 <p>担当者、参加者の感想等、また今後の課題やより充実させるためのアイデア等記載ください。</p> <p>令和5年度は事業を拡充して、定員20名拡大（エンジョイクラス全年齢対象定員20名を、エンジョイクラス小学生20名、エンジョイクラス中学生以上20名に拡充）した。</p> <p>9月28日の交流会で石川直宏CGをゲスト参加ほか、観戦チケット配布などを行った。</p> <p>あおぞらサッカースクールのユニフォームやバナーの作成を行った。</p>	

No.17

所管	障害福祉課
事業名称	調布市障害者余暇活動支援事業（ほりでーぷらん） 継続
実施日	令和7年3月8日（土）
実施内容	<p>スポーツなど運動機会が限られてしまう成人の知的障害者を対象に、昨年度に引き続き、今年度もFC東京コーチと一緒にサッカーを楽しむ企画を実施予定です。</p> <p>昨年度は、持っているサッカーボールを相手にタッチしながらの挨拶からスタート。気持ちいい挨拶から心躍る様子が伝わってきました。その後もボールを「弾ませる」「蹴る」「蹴りながら前進する」等の基本的な動きに慣れていく、徐々にサッカーライクなプログラムへ。ゴールめがけてシュートしたり、壁となっている人を避けながらドリブルしたり、スタッフと一緒に声を掛け合いながら楽しみました。プログラムの後半は簡単なゲームも実践。俊敏な動きから一瞬であちこちにボールが行き来する展開に、応援している参加者も大いに盛り上りました。</p> <p>会場：大町スポーツ施設・体育館 参加費：300円（保険代、飲料水代） 【参加人数】 25名</p>
今後の方向性や課題等	<p>今年度で開催5年目を迎え、毎年の恒例イベントとして実施している。毎年参加してくださる方多く、ご本人や保護者様からも「とても楽しみにしていました」とのお声をいただいている。</p> <p>今後の課題として、1点目はweb上で実施会場と自宅や施設を繋ぐなど、重度の障害者も参加できる企画や方法を検討すること、2点目は安定した事業継続のために、スタッフとして協力してくれている市内各事業所の職員やボランティアなどの安定的な確保することの2点がある。</p>



No.18

所管 環境政策課

事業名称 広報紙「ゼロカーボンシティちようふ」への記事掲載 新規

実施日 令和6年12月20日（金）発行

実施内容 広報紙「ゼロカーボンシティちようふ2024年No.2冬号」（以下「広報紙」という）の、市民や市内事業者が行っている「環境に良いこと」を掲載する特集にて、FC東京のホームタウン活動の一つ、CGAゴミ拾い部の活動を紹介。

広報紙を市内全戸配布するとともに、東京スタジアムの配架ラックにも設置いただいた。



今後の
方向性や
課題等

広報紙掲載に向けたやりとりを行う中で構築した関係を基に、令和7年2月のジェネレーター会議に環境政策課として参加。広報紙を紹介するとともに、令和7年度に環境に関するイベントをFC東京、ジェネレーター会議メンバーとともにを行うことを計画・検討中。



No.19

所管	環境政策課
事業名称	飛田給駅前クリーン作戦
実施日	令和6年9月26日（木）
実施内容	<p>駅前クリーン作戦は、地元自治会や商店会、事業者のほか、広く地域住民の参加を募り、駅前の清掃活動を行う事業である。飛田給駅はFC東京の本拠地、味の素スタジアムの最寄駅であることから、FC東京のコミュニティジェネレーター石川直宏氏にも参加いただき、サポーターの協力も得て実施している。</p> <p>なお、飛田給駅前クリーン作戦は、令和元年度の「ラグビーワールドカップ2019(TM)」の開幕を契機に、訪れる観客をきれいな環境で迎えられるようにとの思いから取組を開始し、令和3年度には、「オリンピック東京2020大会」開催に向けた機運を醸成する効果にもつながった。その後も、駅周辺の美化活動を推進していくため、継続して取り組んでいる。</p>
今後の方向性や課題等	 <p>今年度は従来の地域住民やFC東京関係者以外に、シルバー人材センターからの参加もあり、例年に比べて大変賑やかな開催となった。今後も飛田給駅前の美化活動を継続していく予定であるが、毎年、進んで活動に参加したくなるような企画や仕組みを考えていきたい。</p>

No.20

所管	交通対策課
事業名称	高齢者等運転免許自主返納サポート事業
実施日	令和5年1月20日（金）から
実施内容	<p>運転免許証を自主返納した高齢者等が、協力店舗ステッカーを掲示している店舗等で買い物等の際に、運転経歴証明書を提示すると、店舗等の独自のサービスを受けることができるもの。</p> <p>FC東京カラーの調布市ロゴを高齢者運転免許返納サポート事業のガイドブック及び店舗ステッカーで使用することで、FC東京の広報に繋げる。</p>
今後の方向性や課題等	<p>協力店舗の拡大が課題である。</p> 

所管	交通対策課	
事業名称	FC東京によるランドセルカバーの寄贈	新規
実施日	令和7年3月	
実施内容	<p>調布市立小学校に令和7年4月に入学予定の新1年生全員を対象に、FC東京マスコットキャラクター「東京ドロンパ」をデザインした反射材素材の黄色いランドセルカバーを、調布市がパートナーシップを結ぶプロサッカーチームであるFC東京及び株式会社MIXIから寄贈いただいた。</p> <p>1 FC東京によるランドセルカバーの寄贈について (1) 目的 ア 新入学小学一年生の交通安全を普及啓発 イ FC東京の社会連携活動の一環として、ホームタウンへ還元 ウ 基本計画に掲げる「FC東京との協働のまちづくり」の連携事業として、FC東京とのパートナーシップを更に強化 (2) 配布対象 令和7年度新入学小学1年生（約2,300枚） (3) 配布時期 令和7年4月1日（各学校に納品は3月） 2 具体的な内容 (1) デザイン（別紙参照） ア 東京ドロンパを活用することで、新入学小学一年生により愛着を持つもらうデザイン。 イ 蛍光黄色の生地を採用することにより、これまでよりも目立ち、新小学一年生の交通安全に寄与。 (2) その他 従来は調布市が交通安全対策事業の一環としてランドセルカバーを支給していた。</p>	
今後の方向性や課題等	<p>受け取った新一年生の反応も確認しながら、次年度以降も継続できるように、調整していきたい。</p>	

No.22

所管	指導室
事業名称	FC東京選手会 小学校訪問授業
実施日	令和6年10月24日（木）
実施内容	<p>FC東京の選手が小学校を訪問し、パス交換対決やPK対決（児童代表3名程度）をしたり、ハイタッチリレー対決（児童全員）を実施。また、質問コーナーで夢を叶えるための努力や苦労や子供たちへのメッセージ等、選手と児童が交流を図るもの。</p> <p>対象：市内小学校のうち1校、小学3年生以上</p> <p>会場：体育館</p> <p>参加費：無料</p> <p>【参加人数（延べ人数）】 布田小学校（5年生3クラス83人）</p>
今後の 方向性や 課題等	  <p>選手と触れ合える機会は子どもたちにとって大変貴重な経験となっているため、今後も継続して実施していきたい。</p>

No.23

所管	図書館
事業名称	「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2024」発行
実施日	令和6年6月から
実施内容	<p>FC東京の協力を得て「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2024」を作成し、3,000部印刷。今年もトップチームの選手から回答をいただくことができた。前年度に引き続き、ジャンルを問わずおすすめの本を選んでいただき、選手集合写真・東京ドロンパ・図書館公式キャラクターじろのコラボ oriを巻末に掲載。</p> <p>令和6年6月16日「FC東京調布の日」調布市PRブース@アジパンダ広場にて、冊子を937部配布。あわせて中央図書館4階のFC東京応援展示コーナーで配布及び掲載図書の展示を行ったほか、市内10分館でも冊子の配付を行った。また、令和6年12月8日に開催された青赤ストリートにおける調布ブースにて、来場者への冊子配布を行った。</p> <p>中央図書館4階の展示コーナーでは、適宜レイアウト変更を行うとともにFC東京から提供していただいた映像を流すことで、時期に合わせた展開としている。</p>
今後の方向性や課題等	 <ul style="list-style-type: none">・中央図書館FC東京応援展示コーナーの充実・選手によるリモートおはなし会や東京ドロンパによる1日館長等、了承しているが未実施の企画について、実施に向けた具体的な話し合いを進めていきたい。・図書館で行う事業へ、今後もFC東京様からグッズをご提供いただけるとありがたい。・東京ドロンパと調布市立図書館公式キャラクターじろのぬりえの実施。・味の素スタジアムで冊子を配付する機会があれば積極的に参加したい。・他課で行う応援企画への積極的参加をしたい。・冊子の内容について、FC東京と連携した新たな形式を検討したい。

No.24

所管	スポーツ協会	
事業名称	第10回調布市小・中学生バレーボール交流大会	継続
実施日	小学生／令和6年12月15日（日） 中学生（女子）／令和6年8月6日（火） 中学生（男子）／令和6年8月7日（水）	
実施内容	<p>【内容】 市内の中学生を対象としたバレーボールの交流大会</p> <p>【会場】 小学生／調布市総合体育館 中学生／武蔵野の森総合スポーツプラザ</p> <p>【参加者数】 小学生男子／8チーム（94人） 小学生女子／4チーム（45人） 中学生男子／12チーム（187人） 中学生女子／9チーム（137人）</p> <p>【FC東京との連携】 (1) 参加賞の提供 (2) プログラムへの広告掲載</p>	
今後の 方向性や 課題等	   <p>今後も継続して、開催を予定しています。</p>	

No.25

所管	スポーツ協会	
事業名称	CHOFU SPORTSキャンプ2024	継続
実施日	令和6年8月21日（水）	
実施内容	<p>【内容】 スポーツを通して「強くたくましく、友達を思いやる心を育てる」ことを目的とし、夏休みの1日を利用してサッカーとパラスポーツ（ゴールボール）の体験会を行いました。</p> <p>【会場】 調布市総合体育館</p> <p>【参加者数】 40人</p> <p>【FC東京との連携】 (1) サッカー教室の運営・指導 (2) テフフットサル体験の補助</p>	
今後の 方向性や 課題等	<p>今後も継続して、開催を予定しています。</p>	

No.26

所管	スポーツ協会	
事業名称	第64回調布市民スポーツ大会 開会式（動画配信）	継続
実施日	令和6年9月5日（木）	
実施内容	<p>【内容】 調布市民スポーツ大会開会式は、今年度もYouTubeによる動画配信での開催となりました。主催者、来賓あいさつの他、FC東京をはじめとした、プロスポーツチームの選手より激励のメッセージをいただきました。また、動画を視聴いただき、調布市スポーツ協会のXをリポストいただいた方へ選手のサイン入りグッズなどのプレゼントを行いました。</p> <p>【会場】 調布市スポーツ協会YouTubeチャンネル</p> <p>【視聴回数（令和7年3月13日現在）】 340回</p> <p>【FC東京との連携】 (1) 森重真人選手の出演 (2) サイン入りグッズの提供</p>	
今後の 方向性や 課題等	 <p>今後も継続を予定しています。</p>	

No.27

所管	スポーツ協会	
事業名称	第42回調布市民スポーツまつり	継続
実施日	令和6年10月14日（祝・月）	
実施内容	<p>【内容】味の素スタジアム及び周辺施設にて、様々なスポーツ・レクリエーションに親しむことができるイベントを開催しました。</p> <p>【会場】味の素スタジアム・ミズノフットサルプラザ味の素スタジアム</p> <p>【来場者数】12,000人</p> <p>【FC東京との連携】 (1) FC東京サッカークリニックの開催 (2) トークショーへ石川直宏コミュニティジェネレーターの出演 (3) キックターゲットコーナーの設置</p>	
今後の方向性や課題等	    <p>来場いただいた方にはスポーツを楽しんでいただくことができました。 また、同日に開催している商工まつりと連携を図ることで、双方の事業に参加を促すことに繋げるなど、相乗効果に努めました。</p>	

No.28

所管	スポーツ協会	
事業名称	第22回調布フットサル大会	継続
実施日	令和6年12月15日（日）	
実施内容	<p>【内容】 サッカーのまち調布を盛り上げる大会として、FC東京及び味の素スタジアム周辺施設の協力のもとサッカー及びフットサルの普及を目指し、実施しています。</p> <p>【会場】 ミズノフットサルプラザ調布</p> <p>【参加チーム数】 ミックスの部／16チーム 一般の部／6チーム</p> <p>【FC東京との連携】 (1) 入賞チームへの賞品提供</p>	
今後の方向性や課題等	<p>オープン大会のため、市外からの参加者も多くいますが、幅広い年齢層でサッカー・フットサルを楽しめる大会として、今後も継続して開催を予定しています。</p>	
 		

No.29

所管	スポーツ協会	
事業名称	第69回調布市民駅伝競走大会	継続
実施日	令和7年1月26日(日)	
実施内容	<p>【内容】 調布市の冬の風物として、調布市の歴史とともに開催される市民を対象とした駅伝競走大会となります。</p> <p>【会場】 味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コース</p> <p>【参加者数／来場者数】 309チーム(1,518人)／3,050人</p> <p>【FC東京との連携】 (1) FC東京賞 (2) 参加賞配付用のランドリーバックの提供 (3) プログラム及び記録集への広告掲載</p>	
今後の方向性や課題等	<p>今大会は2年ぶりに味の素スタジアムで開催しました。 アンケートの結果、90.7%が「非常に満足」「満足」と回答いただきました。その理由としては、「味の素スタジアムでの開催」「大会の盛り上がり」「運営のスムーズさ」に高い評価をいただいており、特に味の素スタジアムで開催する特別感が評価されました。一方で、リレーゾーンの混雑による呼び出しの聞き取りにくさや折り返しの多いコース設定の改善が求められました。 今後向けた取り組みについては、現状に概ね満足していることが伺える一方で、「特別ゲストの招致」「市外チームの受け入れを含む新たな種目の追加」「ステージイベントやブース出展の充実」など、イベント性や参加枠の拡充を求める声が一定数見られました。・第70回大会に向けて、特別ゲストの招致や新たなカテゴリーの導入、イベント性の充実など、参加者がより楽しめる要素を追加することで、さらなる満足度向上が期待できます。</p>	

No.30

所管	社会福祉法人調布市社会福祉協議会	
事業名称	東京都共同募金調布地区協力会	継続
実施日	11/3（日） VS湘南ベルマーレ戦	
実施内容	<p>・メイン、バックの2か所に加え、味パンダ広場にて赤い羽根共同募金とFC東京マスコットキャラクター「東京ドロンパ」をデザインしたのコラボピンバッジ販売と、募金を頂いた方へ限定デザインの青赤の羽根をお渡しした。味パンダ広場ではドロンパが募金箱を持って協力してくださった。バッジは1個500円で販売し、製作費を除いた額を東京都共同募金会へ寄付をした。1300個を販売したが、完売となった。</p> <p>・募金活動にも多くの方が足を止め、募金をしていただいた。</p>	
今後の 方向性や 課題等	<p>・限定バッジを毎年楽しみにしている方もおり、来年度以降も継続していく。</p>	



No.3 1

所管	調布市文化・コミュニティ振興財団	
事業名称	調布よさこい2024	継続
実施日	令和6年8月24日（土）	
実施内容	実施会場：調布市グリーンホール、 調布市文化会館たづくり1階むらさきホール、 市役所前庭、たづくり北側道路 参加者：延べ約18,000人 概要：調布よさこい踊りに、地域団体の出店や ステージパフォーマンスを実施。 会場：FC東京さんには、スタンプラリーの景品の鳴子に貼るための シールの提供と、キックターゲットのテントを出店していただいた。	
今後の 方向性や 課題等	 <ul style="list-style-type: none">鳴子シールの提供をはじめ、キックターゲットのテント出店など、イベントと一緒に盛り上げていただいた。開催日でなければ、またキックターゲットでご参加をお願いしたい。令和7年度は実施時期を秋に変更する。味スタ試合開催日に、スタジアム入り口周辺やコンコースなどでのよさこい演舞などチームを紹介すなど、一緒に盛り上げたい。	
	文化・コミュニティ振興財団	

No.32

所管	調布市文化・コミュニティ振興財団
事業名称	映画のまち調布 シネマフェスティバル2025 繼続
実施日	令和6年7月1日（月）～9月3日（日）
実施内容	<p>実施会場：調布市文化会館たづくり、イオンシネマシアタス調布、味の素スタジアム</p> <p>概要：「映画のまち調布 シネマフェスティバル」とFC東京の連携を図り、調布市民並びにFC東京サポーターへの両者のPRを図る企画を実施。</p> <p>＜具体的な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none">・シネマフェスティバル開催に向けて受付した第7回日本映画人気投票をPRするため、FC東京選手のメッセージ動画をイオンシネマシアタス調布、文化会館たづくりのロビーで放映・第8回日本映画人気投票プレゼントキャンペーン用グッズへの選手サイン・8月11日京王電鉄デーにて第8回日本映画人気投票のチラシ配布  
今後の方向性や課題等	<ul style="list-style-type: none">・昨年に引き続き、普段と異なる客層へPRを実施することができ、イベント認知向上に繋げることができました。今後はFC東京様にも連携のメリットを感じていただけるような取り組みを検討したいです。

No.33

所管	スポーツ振興課	
事業名称	あおあかドリルの配布	継続
実施日	令和6年5月30日（木）	
実施内容	FC東京がホームタウンの子供たち向けに作成した、あおあかドリルを実際にFC東京の担当者と共に市内小学校の児童に配布。	
今後の方向性や課題等	 <p>FC TOKYO あおあか ドリル 一緒に体を動かそう! 名前</p> <p>チームマスコット 東京ドロンパ</p> <p>FC東京・教育委員会と連携し、小学校でのあおあかドリルを活用した授業の実施を引き続き進めていく。</p>	

No.34

所管	スポーツ振興課、文化生涯学習課、産業振興課、図書館	
事業名称	FC東京「調布の日」	継続
実施日	令和6年6月16日（日）	
実施内容	<p>味の素スタジアムで行われたホームゲーム（対ジュビロ磐田戦）を「調布の日」とし、市民招待（500組1,000人）に加えて、隣接するエリアで開催される青赤パークにおいて市のPRブース出展やキッチンカー出店を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調布市観光PRブース 「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の取組、深大寺などたくさん の魅力が溢れる調布の観光情報の発信や、布市立図書館が毎年発行している「FC東京選手 の私のすすめるこの一冊2024」の配布を実施。 ・パラアート展示 市内の福祉作業所で制作された「調布市パラアート展」の作品を展示 ・デフリンピックPRブース ・Xフォローキャンペーン スポーツ振興課Xをフォローした方に調布市オリジナルのFC東京グッズをプレゼント ・キッチンカー出店 調布市内の福祉作業所によるフードの提供 ・子どもサッカーアカデミー教室 年中～小学3年生を対象としたサッカー教室を実施。 ・青赤ドレッシング 調布の日にあわせて、味の素スタジアム前歩道橋階段の青赤ドレッシングを実施。 	
今後の方向性や課題等	  	

No.35

所管　　スポーツ振興課・産業振興課

事業名称　調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクトチーム

継続

実施日　　令和6年7月24日（水）

実施内容　FC東京創設20周年を契機に、FC東京と連携した協働のまちづくり等を推進することを目的として設置（平成30年1月）。副市長をリーダーとし、各部が推薦した委員から構成され、FC東京と連携したスポーツ振興、青少年の健全育成、市民の健康づくり及び地域経済活性化等に資する協働のまちづくりの推進に関するについて検討した。

令和6年度委員数：21人

○議題（第1回）

- ・第4回青赤ストリートの開催について
- ・調布市制施行70周年に向けた取組について 等



今後の
方向性や
課題等

- ・令和7年度は市制施行70周年を迎える記念すべき年であることから、各課が実施予定の事業についてFC東京との連携をさらに深めた取組ができるか検討していきたい。
- ・FC東京を活用した取組をしている部署は多くあるものの、例年同じ顔ぶれであることから、これまでFC東京と関わりの少ない部署にも積極的にFC東京を活用してもらえるよう働きかけていく必要がある。

No.36

所管	スポーツ振興課	
事業名称	FC東京×朝活	新規
実施日	令和6年7月20日（土）	
実施内容	働く大人や子育て世代の主婦、運動時間が確保できない方、運動不足を感じている方などが対象の、誰でも簡単に参加しやすい運動をメインとした朝活事業。休日の朝から運動することで、基礎代謝を高め、睡眠の質や集中力の向上につなげることを目的として実施した。	
	対象：市内在住、在勤、在学の18歳以上 会場：市民西町サッカー場 参加人数：22名 参加費：無料	
今後の方向性や課題等	<p>令和5年度まで実施していた大人向けフットサル教室に代わる事業として実施。コンセプトを一新し、より参加がしやすいような形とした。</p> <p>【コンセプト】</p> <ul style="list-style-type: none">・門戸をより広く →フットサルに限らない、運動不足解消に向けたプログラムに変更。・時間、曜日を変更 →夜間から朝、平日から休日にそれぞれ変更。 <p>その結果として、朝活事業では27人の申込があった。</p> <p>参加者アンケートには、「朝時間の活用はますます重要になってくるので、また実施してほしい」「単発ではなく、複数回実施してほしい」「運動習慣を身につけて夏の暑さにも負けないような身体作りを頑張ろうと思った」など好評の声をいただいた。</p> <p>ただ、朝の時間帯ではあるものの、開催時期が夏だったこともあり、スタートから気温が高い状態であったために途中ダウンしてしまう人がいたので、運営・参加者双方の安全確保のためにも、夏の暑い時期を避けるなど、開催時期をずらす必要がある。</p> <p>次年度はアンケートでも意見があがっていた、複数回実施をして、運動週間定着につなげていきたい。</p>	

所管	スポーツ振興課																						
事業名称	子どもサッカーチーム体験教室	継続																					
実施日	令和6年12月21日（土），令和7年3月23日（日）																						
実施内容	<p>サッカー未経験・初心者の子どもたちを対象に、FC東京の普及部コーチによるサッカー教室を開催。</p> <p>1年中・年長児の部は大人の同伴者と二人一組で参加。体全体を使った遊び感覚のウォーミングアップから始まり、最後は子どもチームと大人チームでミニゲームを実施。</p> <p>小学生の部は「1年生の部」と「2~4年生の部」に分かれて実施。コーチにボールを奪われないようにフィールド上を逃げ回ったり、シュート練習を行い、最後はミニゲームを実施。</p> <p>参加者からは「公園などはサッカー禁止の場所が多く、なかなかサッカーをする機会がないので、広いグラウンドで伸び伸び出来て楽しかった。」「ルールが分からなくても、先生が盛り上げてくれてとても楽しく参加できた。」といった感想をいただいた。</p> <p>対象：市内在住・在学の年中・年長児～小学4年生 （昨年度は年中・年長児の申込が多数だったことから、二部制で実施）</p> <p>会場：市民西町サッカー場</p> <p>参加費：無料</p> <p>【参加人数（令和6年12月21日）】</p> <table> <tr> <td>年中・年長児（第一部）</td> <td>29組</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>年中・年長児（第一部）</td> <td>10組</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>小学生1・2年生</td> <td>17人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学生3・4年生</td> <td>4人</td> <td>計99人</td> </tr> </table> <p>【参加人数（令和7年3月23日）】</p> <table> <tr> <td>年中</td> <td>19組</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>年長</td> <td>12組</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計62人</td> </tr> </table>		年中・年長児（第一部）	29組	58人	年中・年長児（第一部）	10組	20人	小学生1・2年生	17人		小学生3・4年生	4人	計99人	年中	19組	38人	年長	12組	24人			計62人
年中・年長児（第一部）	29組	58人																					
年中・年長児（第一部）	10組	20人																					
小学生1・2年生	17人																						
小学生3・4年生	4人	計99人																					
年中	19組	38人																					
年長	12組	24人																					
		計62人																					
今後の方向性や課題等	<p>昨年度は定員を大幅に超える申込があったが、今年度は、開催日が12月中旬の寒さが厳しい時期だったこともあり、ほぼ定員内またはそれ以下の申込みだった。</p> <p>本事業は例年人気の事業であるため、今後も継続して実施する予定だが、ターゲットをさらに限定した事業の実施も新たに検討していきたい（女子対象、未就学児のお子さんをもつママ向けなど）。</p>																						

No.38

所管	スポーツ振興課	
事業名称	小学生サッカークリニック及び指導者講習会	継続
実施日	令和6年11月30日（土），12月21日（土）	
実施内容		調布市少年サッカー連盟と連携しながら、味の素スタジアムに隣接する調布基地跡地運動広場サッカー場にて、小学生を対象としたプロコーチによる指導を実施。また、サッカーチームのコーチを対象とした指導者講習会も併せて実施。
今後の方向性や課題等	<p>FC東京と連盟との間で都合の良い日程がなかなか決まらず、調整に時間を要した。</p> <p>これまで、ある程度時期を限定して施設の空き状況をFC東京に伝えていたが、連絡の手間が少しでも省けるよう、年間の施設の空き状況を共有し、早めに調整を依頼するなど対応していく必要がある。</p>	

No.39

所管	スポーツ振興課・産業振興課・文化生涯学習課	
事業名称	青赤ストリート	継続
実施日	令和6年12月8日（日）	
実施内容	<p>味の素スタジアムで開催されたJ1リーグ2024シーズン最終戦となる第36節（対セレッソ大阪戦）にあわせ、飛田給駅から味の素スタジアムまでの通称「スタジアム通り」を歩行者専用道路とするイベントを開催。</p> <p>また、調布市ブースでは2024シーズンをもって現役を引退されたディエゴ オリヴェイラ選手とFC東京を離れる児玉剛選手に向けた寄せ書き企画を実施し、多くのFC東京ファン・サポーターが参加した。たくさんのメッセージが書かせたフラッグは、試合後に両選手の元に届けられ、後日選手からのコメント動画をSNSで発信したところ、3.2万ものインプレッションがあった。</p> <p>【出展内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市PRブース ・ちょうどふピースメッセンジャー・ピースメッセンジャージュニア活動報告展示 ・Xフォローキャンペーン ・ディエゴ選手、児玉選手への寄せ書き企画 ・キッチンカー出店 ・ステージイベント <p>ピースメッセンジャージュニア活動報告、WINDYSによるチアダンス、BMXパフォーマンス、D'zダンススクールによるダンスパフォーマンス 等</p>	
今後の方向性や課題等	   	

No.40

所管	スポーツ振興課	
事業名称	調布市パラスポーツ体験会	継続
実施日	令和6年11月17日（日）	
実施内容	<p>調布市パラスポーツ体験会において、普及部コーチによるウォーキングフットボールブースを実施。体験会ではドリブルやシュート体験を行い、子どもから大人まで幅広い層がコーチと一緒にウォーキングフットボールを楽しんでいた。</p> <p>【「ウォーキングフットボール」とは】</p> <p>歩いて行うサッカーのことで、走らない、接触しない、ボールを浮かせないというルールで行う。</p>	
今後の方向性や課題等	  <p>今回のパラスポーツ体験会では、ひとつのエリア内で別団体のプログラムと交代でウォーキングフットボールを実施いただいた。例年集客が課題であり、令和6年度においても、開始直後の来場者が少なく、呼び込みに苦慮した。</p> <p>令和7年度からスポーツ協会に運営委託し、それにあわせて実施内容の見直しを図るため、FC東京にどのように関わっていただくかは今後検討を進めていくものの、共生社会への取組のなかで、FC東京とは引き続きご協力いただきたいと考えている。</p>	

No.4 1

所管	スポーツ振興課・指導室	
事業名称	合同部活動での技術指導	新規
実施日	令和7年1月11日（土），令和7年2月16日（日）	
実施内容	<p>部活動の地域連携に向けたトライアル事業として、休日の部活動における合同部活動を実施する中で、FC東京と連携し、競技力向上の講習会を開催。</p> <p>○令和7年1月11日（土） 調布市立第三中学校，第七中学校</p> <p>○令和7年2月16日（日） 調布市立調布中学校，第五中学校</p>	
今後の 方向性や 課題等	   今回のトライアル事業の実施を踏まえ、学校現場で生じる業務の可視化や課題の整理などを行いながら、次年度以降の部活動の地域連携につなげていく。	

No.42

所管	スポーツ振興課	
事業名称	FC東京リーグ戦等の情報発信	継続
実施日	随時	
実施内容	<p>市民の応援機運醸成の取組として、市公式HPやSNSでFC東京に関する情報を発信した。</p> <p>【SNSの発信内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J1リーグ戦の試合結果, ・FC東京応援隊 <p>FC東京のホームタウンのなかでも株主である6市（調布市・三鷹市・府中市・小金井市・小平市・西東京市）の職員が、チームの勝利を願い、ユニフォームをはじめとしたFC東京グッズを身に付けて1日業務にあたる日に、各市のSNSで当日の様子や市内イベントの参加者の写真や動画をリレー形式で発信するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松橋監督、野澤選手のコメント動画 等 	
今後の方向性や課題等	  <p>FC東京関連のポストは視聴回数も多く、市民だけでなく、FC東京ファン・サポーターからも注目されている。</p> <p>FC東京と連携を図りながら、FC東京関連イベント時にはその都度情報を発信し、調布市=FC東京のまちというイメージをより強めていきたい。</p>	

No.43

所管	スポーツ振興課	
事業名称	FC東京応援機運醸成に向けた取組	新規
実施日	通年	
実施内容	<ul style="list-style-type: none">・オリジナルグッズ制作 FC東京の新エンブレムを使用したステッカーや缶バッジ、メモ帳を製作。グッズは、FC東京関連のイベント時に配布した。・青赤装飾 飛田給駅周辺で青赤ドレッシングを実施（駅舎南側壁面、北口階段壁面、味の素スタジアム前歩道橋階段）	
今後の方向性や課題等	   	

No.44

所管	スポーツ振興課・広報課・調布市文化・コミュニティ振興財団	
事業名称	FC東京2025シーズン開幕に向けた取組	新規
実施日	令和7年2月	
実施内容	<p>Jリーグ2025シーズンの開幕を迎えることを受け、応援企画を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FC東京からのメッセージ動画 松橋力蔵監督、野澤大志ブランドン選手の2名による調布市向けのメッセージ動画の発信 • 青赤ライトアップ 調布市文化会館たづくり外壁のLED照明を期間限定でFC東京カラーである青赤に点灯 • 庁内放送 シーズン開幕戦前日の2月14日（金）に松橋監督から市民に向けたメッセージを放送 • 各種広報媒体でのリーグ開幕PR リーグ開幕に向けて、市報を中心とした広報媒体にてリーグ開幕のPRを実施（市報2月20日号、SNS） 	
今後の方向性や課題等	<p>2025シーズンから新監督に松橋氏が就任された。松橋監督は国領出身ということもあり、動画やメッセージなど様々な媒体でご出演いただいており、今後も引き続きご協力をお願いしたい。</p> <p>市報掲載にあわせて発信した松橋監督と野澤選手のコメント動画は2.8万ものインプレッションがあり、多くの方に見ていただけた。</p> <p>動画やメッセージは準備・調整から撮影・収録までの期間がかなりタイトだったため、次回はスケジュールに余裕を持って動きたい。</p>   	